

社会の仕組みを疑似体験 こどものまち「ミニあやせ」



▲昨年のミニあやせの様子。2日間で1000人を越える人が参加しました



8月11日(土・祝) 10時～16時、12日(日)10時～15時、オーエンス文化会館と中央公民館で、こどものまち「ミニあやせ」を開催します。

お店や遊び場、公共施設など、子どもたちが自ら構成を考えたまちで、働いたり、買い物したりしながら、社会の仕組みを疑似体験します。

市内在住の小・中学生対象。小学生は学校から配布

大人・保護者の皆さんへ

スタッフ以外の大人、保護者などはミニあやせに入場できませんが、大人見学ツアー(当日申し込み、抽選)を実施するので、実際にミニあやせの様子や子どもたちの活動を見学することができます。その他、休憩所などがあります。

「大人見学ツアー」スケジュール

▶1日目①11時30分から②12時30

分から③13時30分から④14時30分から▶2日目①11時30分から②12時30分から▶受付時間 各回15分前

当日大人スタッフ募集

子どもたちの運営補助として、店長の仕事や食事出店の調理などをサポートする大人スタッフを募集しています。子どもと一緒に「ミニあやせ」に参加しませんか。当日、受付にきてください。

参加する子どもたちは、会場で市民登録をしてか

市民登録後に仕事を探し給料をもらって買い物

されるチラシにある申込書に記入し持参(中学生は不要)。2日間で何回でも自由に参加できます。飲食店で働きたい子はエプロン、三角巾、マスクを持参してください。

ミニあやせは、子ども実行委員たちが、5月から会議を重ね、毎年少しずつよい良いまちへと進化させています。みんなの将来の夢がこのまちで実現するかもしれません。ミニあやせの市民になってみませんか。

タイムスリップ

～相模ささら踊り～

ささら踊りは、江戸時代から続く県独自の踊りで、太鼓の音に合わせて、短冊型の竹の上端をひもでつづった「ささら」を打ち鳴らして踊る、女性だけの盆踊りです。一時期は減少していましたが、昭和42年に南足柄町(現南足柄市)の足柄ささら踊りが、県の指定無形民俗文化財に指定されたことを皮切りに、各地で発見・復活されました。

平成20年には、本市を含む6市8団体による「相模ささら踊り」が県の無形民俗文化財に指定されました。

毎年、相模ささら踊り大会が行われており、今年度は8年ぶりの市内開催で、7月26日(木)13時30分から、IIMURO GLASS 市民スポーツセンターで開催します。この機会にぜひご覧ください。

團生涯学習課 ☎70・5637。



▲綾瀬ささら踊り

ら、お仕事センターで仕事を探します。働いて、給料をもらったら買い物をして、給料はミニあやせだけで使える通貨「ローズ」です。ローズはミニあやせで継続的に使うことができ、前回のローズも使えます。

公共施設やお店のほかステーションや市長対談も

ミニあやせには、市役所やお仕事センター、銀行、警察署、清掃局などの公共施設のほか、ホットドッグ、そつめんなどの飲食店、ゲームセンターなどの遊び場、雑貨を製作・販売する工房があります。

ミニステージでは、楽しいイベントやミニあやせ市長の記者会見、ミニあやせ市長と綾瀬市長の対談などが行われます。

特別出店として、農産物直売所、ブタッコリグッズや洋菓子販売など、大人が運営し、子どもたちが働く体験の場があります。

團市こどものまちミニあやせ運営委員会事務局(青少年課内) ☎70・5655。

あやせスポレポ!



太極拳協会

團青木 ☎78・4088



まちかど特派員 段木武



太極拳は中国の伝統的な武術ですが、第二次大戦後の中国で、誰でも学べる健康増進のための新しい太極拳として、24式太極拳が制定されました。日本では、1972年の日中国交正常化を契機に広く普及することになりました。現在では、健康体操として世界的な広がりを見せていて、競技としても盛んになっています。

市太極拳協会は、1995年に設立され、18団体が加盟し、会員数は約180人になります。会員のうち75%を女性が占め、年齢層は幅広くなっています。スポーツセンターを中心に各

地区センターや自治会館などで活動し、地域の行事にも積極的に参加しています。

太極拳は、腹式呼吸でゆっくりと動くので、性別や年齢に関係なく、無理なく行うことができます。徒手だけではなく、剣や扇を使った演武もあり、なかなか格好いいものです。

会員の方からは「美容と健康に良い」「冷え性が治った」など、健康に関する感想が一番上がっており、「若く見られる」という感想もありました。

演武を見て感じたことは、皆さんの体がとても柔軟で、姿勢や動作が美しいということですね。ほれぼれしました。

